

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県 酒田市

自治体名：山形県酒田市

担当課名：学校教育課

電話番号：0234-26-5775

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	602.98 km ²
人口	94,762 人 ※令和6年6月1日現在
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	2,177 人 ※令和6年6月1日現在
部活動数	103 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	酒田市スポーツ推進協議会をあてていたが、改めて協議会を設置予定
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	学校教育課として策定したが、協議会で改めて策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

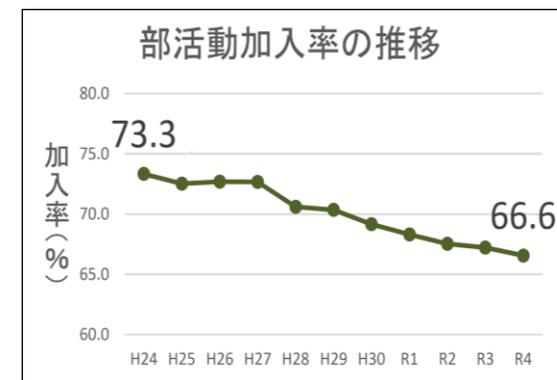
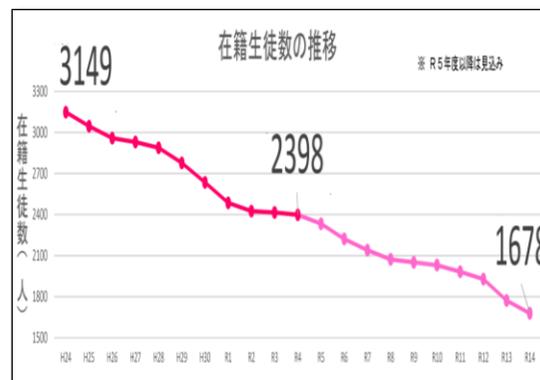
令和4年度までの10年間で本市では在籍生徒数が750人ほど減少しており、今後10年間も同様の傾向となる見込みとなっている。また、運動部活動の加入率は年々低下しているが、運動部活動の数はさほど変わらない現状がある。競技団体ごとの選手数をみても、この10年間で減少し、多くの種目で学校単位によるチームが組めないことが予想されるため、今後進んでいく少子化への対応として、将来的に市民のスポーツ環境をどう整備していくかということも踏まえ、持続可能な地域スポーツの在り方を考えていく必要がある。

令和6年度には更に減少し、生徒数は2,177人、部活動数は103部、加入率は57.6%となっている。

外部指導者についても現在170名となり、各クラブに複数体制を敷くためには30~40名程足りない。

市内に7校ある内3校については地元の総合型地域スポーツクラブが受け皿となり、地域クラブ活動を行っているが、4校については現在受け皿を設立するために話し合いを進めている。

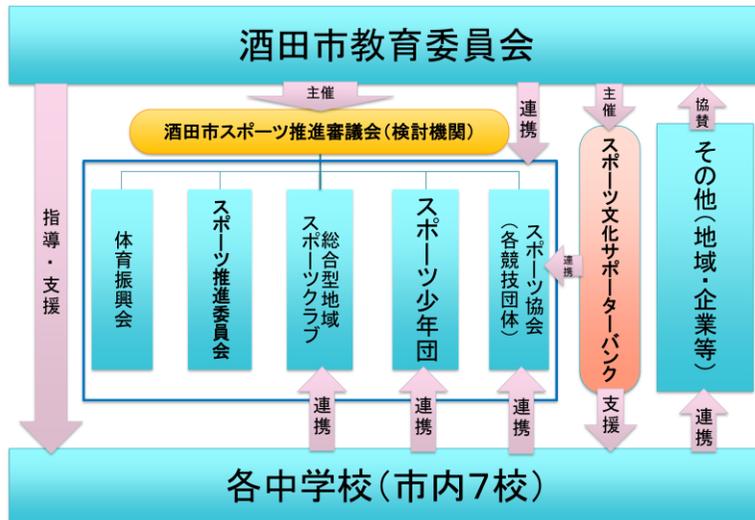
財政支援についても課題である。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・部活動地域移行の周知徹底
- ・地域クラブへの再委託
- ・サポーターバンクの管理並びにサポーターセミナー開催&マッチング
- ・部活動改革実態調査実施

◎首長部局

- ・酒田市スポーツ推進審議会運営
- ・地域スポーツクラブとの連携

年間の事業スケジュール

令和6年4月	部活動改革総括コーディネーター配置
令和6年5月	第1回サポーターセミナー開催 地域クラブへ再委託(～12月)
令和6年6月	第1回酒田市スポーツ推進審議会
令和6年7月 ～8月	豪雨災害により関係会議延期
令和6年9月	生徒・保護者・指導者・顧問等アンケート実施 山形スポーツアンバサダー市町訪問 第1回庄内地区部活動改革研修会 第1回酒田市教育委員会担当者会
令和6年10月	第2回酒田市教育委員会担当者会
令和6年11月	第2回酒田市スポーツ推進審議会 第2回サポーターセミナー開催 第3回酒田市教育委員会担当者会
令和6年12月	再委託先クラブヒアリング 第2回庄内地区部活動改革研修会
令和7年1月	先進地視察(長岡市・神栖市)
令和7年2月	県アドバイザーによる部活動改革説明会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	7 校	実施した地域クラブ総数	9 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		41 クラブ（83 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		5 クラブ
全体の指導者数	170 人	全体の運営スタッフ数	約30 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 <small>※新規のものは末尾に（新）を付ける</small>	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
きらり川南スポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール、バレーボール、軟式野球、ソフトテニス	月 4 回／ 週 1 回	午前	1年:22名 2年:45名 3年:34名	4月 ～3月	学校施設 など	12 人	2 人	月会費 各クラブ対応 年会費 2,000円/1人	中体連：部活動 その他：地域クラブ
ひらた目ん玉スポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール、軟式野球、サッカー、ソフトテニス、陸上競技	月 4 回／ 週 1 回	午前	1年:28名 2年:22名 3年:35名	4月 ～3月	学校施設 など	15 人	3 人	月会費 各クラブ対応 年会費 5,000円/1クラブ	中体連：部活動 一部地域クラブ その他：地域クラブ
川南アスリートクラブ	任意団体型	陸上競技	月 8 回／ 週 2 回	平日： 午後 休日： 午前	1年:7名 2年:5名 3年:12名	4月 ～3月	光ヶ丘陸上競技場	4 人	1 人	月会費 1,500 円 年会費 0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ひらたジョグウォークフェスティバル
- スキー教室

- 筋膜リリース講習会
- 雪ん子目ん玉まつり

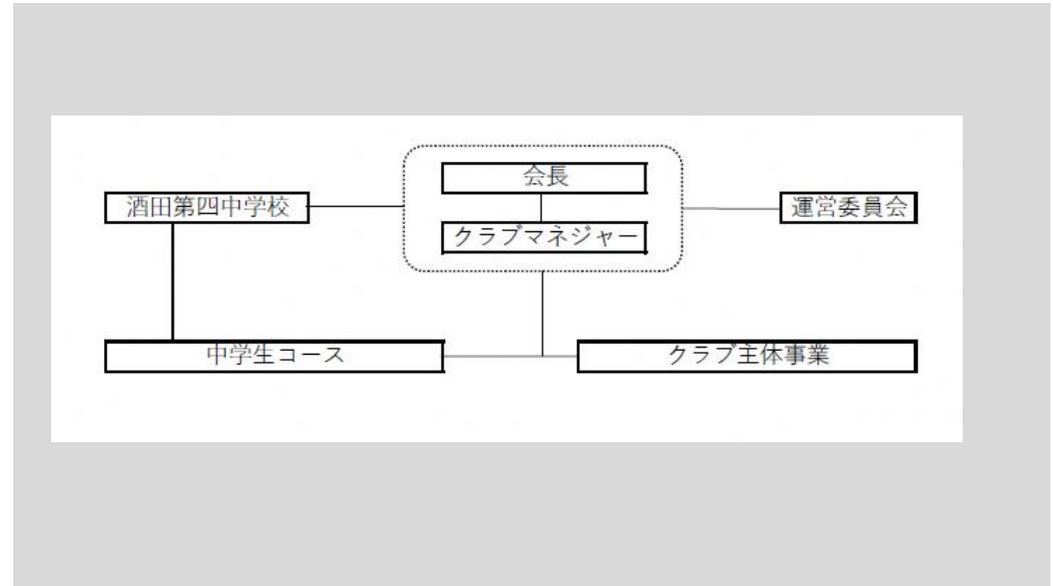
2.実証内容と成果

主な取組例

●きらり川南スポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、バレーボール 軟式野球、ソフトテニス
運営団体名	きらり川南スポーツクラブ
期間と日数	全種目：4月1日～3月31日 月4回程度（など）
指導者の主な属性	外部指導者
活動場所	学校施設など
主な移動手段	自転車、自家用車
1人あたりの参加会費等（年額）	全種目共通：1,200円 各種目：1,200円（中学生コース）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 会長 五十嵐 芳和
役割：クラブの代表として運営を統括
- クラブマネージャー 加藤 雅広
役割：事務局を兼務。クラブの諸活動をサポート
- クラブ指導者 11名
役割：会員への指導。基本の大切さを教え、競技ごとの技術指導等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

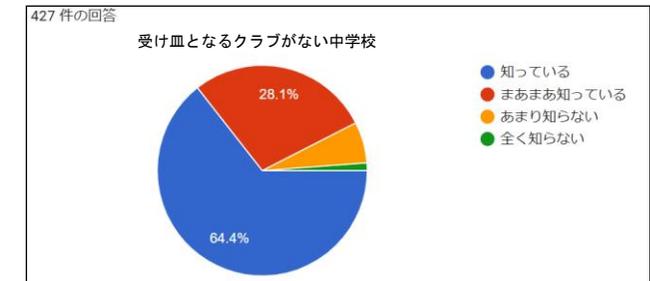
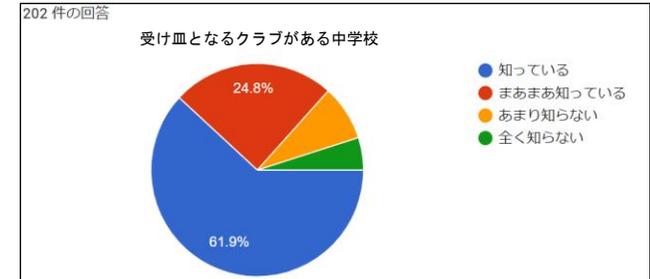
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○総括コーディネーター等を配置し、関係団体との連絡調整・指導助言等を行う。
 ○県が示した地域スポーツクラブ活動の在り方や基準等を踏まえ、市町村が地域の実情を踏まえながら、要件や基準等を調整して設定し、登録・指定等を実施する。

取組の成果

- ・昨年度に引き続き、各校の部活動代表者会等への説明を今年度も行ってきたが、今年度は更に7校中4校の新入生保護者説明会に参加し、当事者となる保護者に説明を行うことができた。
- ・競技団体や自治会等への説明を昨年度から行っているが、今年度は理解が進んだため、質問意見要望等が大きく減少した。内容についても、地域移行の必要性についての疑問や批判が多かったが、今年度は建設的な意見要望が増えた。
- ・地域クラブ活動の基準については、先進地視察を受けてより明確にする必要があることを理解することができた。様々なクラブの定義づけも行うことができた。



出典：酒田市

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・部活動代表者会や中学校新生保護者説明会における説明
- ・競技団体、組織役員、コミセン、自治会等への説明
- ・サポーターマッチング 3名
- ・県中体連説明会への参加

今後の課題と対応方針

教育委員会内でも学校教育課がメインでこれまで改革を行ってきたが、今後を見据えた時に関係各課で議論した上で、推進計画を策定することが将来のために必要であると改めて認識した。来年度、酒田市部活動改革推進協議会（仮称）を設立し、酒田市全体で改革を実行していく体制を作り、話を進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○酒田市独自のスポーツ・サポーターバンクを設立したが、令和6年度は文化サポーターも募集した。
 ○酒田市学校教育課で、サポーターセミナーを年2回行う。
 ○指導者に対して指導者謝金を支払い、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。

サポーターバンクの人数

17名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	1名
30代	1名
40代	5名
50代	5名
60代以上	5名

資格有無

日本バスケットボール公認C級コーチ、日本バスケットボール協会C級審判
 ACP講師講習アシスタントマネジャー、スタートコーチインストラクター
 スポーツ少年団指導員基礎資格、バレーボール山形県公認審判資格など

取組の成果

今年度、学校とクラブのニーズにより、サポーターを紹介したところ、2名のマッチングが成功し、もう1名マッチング中である。(2月7日現在)

○1人目 陸上競技クラブ 60代男性

これまで教員として、長年指導をしてきた経験がある

○2人目 男子バスケットボール部 50代男性

他県の学校でコーチとしてバスケットボールの指導をしてきた経験がある

○3人目 軟式野球 60代男性

高校野球で約6年間指導実績がある

種目

バスケットボール
 バレーボール
 陸上競技
 体操・新体操
 サッカー
 ソフトテニス
 卓球
 軟式野球

酒田市スポーツ・文化サポーターバンク 募 集

「サポーター」とは？

- ① 指導できる方
- ② 指導のお手伝いができる方
- ③ 事務等のお手伝いができる方

酒田市では、スポーツ・文化サポーターを募集しています。資格を持っている方はもちろん「経験を生かしてスポーツや文化活動の指導がしたい！クラブ運営に携わりたい！子どもたちと一緒に活動したい！」という方は「スポーツ・文化サポーターバンク」に登録しませんか？お待ちしております

活動地
主に、酒田・飽海内

18歳以上
ならどなたでも

休日 9:00~21:00 <small>※上記の時間内に、1日3h以内 ※クラブにより土・日のどちらか！</small>	可能なら平日も 16:00~18:00 <small>※1日2h以内、週3日~4日 ※週1日は必ず休みます！</small>
---	--

裏面参照！

募集種目・競技

陸上競技・野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・テニス・卓球・体操・バスケットボール・バドミントン・剣道・柔道・吹奏楽・合唱等

登録方法

①「QRコード」から直接入力。
 ②「登録用紙」に必要事項を記入し、下記までFAXか直接持参で提出
 ※「登録用紙」はHP、コミセン、市役所にてお渡ししています。

ご応募&お問い合わせ **酒田市教育委員会学校教育課(市役所6階)**
 担当:小林・高橋
 TEL.0234-26-5775 FAX.0234-23-2257 ■ 市役所本館10階6号室(市役所6階)

登録はコチラのURLへ<https://city.yokote.lg.jp/kyosei/kyosei.html>または<https://city.yokote.lg.jp/kyosei/kyosei.html>からお問い合わせください。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容・参加実績

第1回サポーターセミナー

日時：令和6年5月24日（金）18:30～20:20

講師：青山学院大学 准教授 星川 精豪 氏

演題：成長期におけるスポーツやトレーニングとの関わり方
～身長や運動能力を伸ばすために～

内容：成長期の子どもの健康づくりには、栄養とトレーニング両面からの体づくりが欠かせないため、身体にとって最善の食事や食品、適切なトレーニングや練習メニューについて、具体的な事例を基に学ぶ

参加人数：約50名

第2回サポーターセミナー

日時：令和6年11月9日（土）実践指導11:00～12:20

講演会15:30～18:00

講師：東京ガスケミカル取締役常務 阿久根 謙司 氏

演題：木の上に立って見ましよう～子どもの「自立」を引き出すコーチング～

内容：「教えないで教える指導者」の育成を目指し、自分たちで考え研究する機会を与えていくことの重要性が大切。すべてに生きる「コーチング＝アクティブラーニング」を学ぶ

参加人数：約50名

受講者の声

【第1回】

・80分では足りないほど有意義な時間を過ごすことができました。第2回、3回と続いていくことを期待しています。

・素人にもわかりやすくユーモアを交えた講演で楽しかったです。

・専門知識を持った人同士と一緒に考え、連携できるシステムがあれば良いと思いました。

【第2回】

・示唆に富んだ、モチベーションの上がる講演でした。ワクワクしました

・講師のエネルギー溢る講演に感動しました。

・非常に良い講演でしたが、参加者がとても少ないように思えました。今回は部活動からの案内でしたが、本来は保護者に見てもらいたい講演だったのではないのでしょうか。

今後の課題と対応方針

・講師の種目に限定的になったこともあり、参加者がかなり少なかった。受講者の声にあるように、内容的にはとても良いもののため、周知方法を改めると共に、部活動指導員やクラブ指導者等の資質向上に向けて、可能な限り、悉皆にすることも検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○総合型地域スポーツクラブを中心に体育施設の利用の面で連携していく。

○指導者や会場のスケジュール管理、実績報告書の作成、謝金支払いの手続き、保護者との連絡調整等も行ってもらう。

取組の成果

・昨年度までは指導者と市教委が直接やり取りをしていたが、総合型地域スポーツクラブに再委託をすることで、保険加入申請、体育施設の減免申請等に加え、指導者の実績報告書の管理、謝金支払いの手続き、源泉徴収作業等を行ってもらった。

・今後、クラブが独立して運営をする上で、必要な手続きについて一通り行うことで、来年度以降の運営がスムーズに行えると担当者からヒアリングで確認することができた。

クラブ名	指導者	事務作業員
希望ヶ丘	16名	2名
きらり川南S C	10名	1名
ひらた目ん玉S C	7名	2名
酒四柔道クラブ	2名	1名
川南A C	4名	1名
東部卓球クラブ	3名	1名
ルミナーレ新体操	2名	1名
酒南Jr柔道クラブ	4名	1名
酒田はいりアバドミントンクラブ	3名	1名

クラブマネジャー

・人件費

事務作業分 時給1,000円

人数分×10時間

・役務費

振込手数料 最大990円

今後の課題と対応方針

・総合型地域スポーツクラブを受け皿としている地域クラブについては減免対象になっているが、これから設立する任意団体クラブについても、活動場所の保障や保護者の負担軽減のために検討が必要である。

・指導者の実績報告書の作成が1つのネックとなり、事務作業の負担となっている。謝金支払いについても銀行振り込みや領収の手続きについて指導者とのやりとりに課題がある。これらを解消するために、アプリ等の使用も視野に検討を進めていく。併せて、保護者との連絡調整やスケジュール管理についても同様にアプリを使用し、より運営しやすい環境づくりを進める。

・酒田市で一元化できないかという意見もあるため、そちらも検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○単一の市町での対応が困難な場合に複数の市町が共同で地域スポーツクラブ活動の運営団体を整備する。

○受け皿となる母体がない学校については、他の学区の総合型地域スポーツクラブと連携し、学区を越えて活動ができるモデルを構築する。

他市町との合同

遊佐町立遊佐中学校と酒田市立鳥海八幡中学校、酒田市立東部中学校が軟式野球部で合同チームを組んでいる。今、現在はそれぞれの中学校区で総合型地域スポーツクラブなどの受け皿となるクラブに所属しながら、休日は合同で練習を行っている。今後、クラブ一本化に向けて、大会出場条件を踏まえながら、進めていく。

学区を越えた連携

酒田市立鳥海八幡中学校の陸上競技部が酒田市立東部中学校の陸上競技部と東部中学区にある総合型地域スポーツクラブに所属し、活動を行っている。

指導者不足が解消され、活動機会の保障もできた。また、中体連大会出場に関してもクラブとして出場し、今後のモデルケースの1つとなっている。

複数学区でのクラブ設立準備

受け皿となるクラブがない3校の代表が集まり、受け皿となる任意団体クラブの設立に向けて、話し合いを進めている。規約やガイドラインを作成し、代表者会で案を作成した。今後、この案を各学校の教員や外部指導者、保護者等に周知し、意見をもらい、策定する。来年度中には任意団体クラブとして活動ができるように、進めている。

取組の成果

- ・モデルケースをつくることが出来たため、その方法を周知し、受け皿となるクラブがない学校にとって、クラブ化する上での選択肢を示すことができた。
- ・中学校区で受け皿となるクラブの設立を進めてきたが、今後の生徒数の減少を見越して、今から設立を考えている任意団体クラブについては複数学区で対応することができている。

今後の課題と対応方針

- ・休日の活動の受け皿となるクラブについては整備の見通しが立っているが、これからの人数規模から考えると整理統合を避けることはできない。早い段階で、保護者や学校関係者への理解促進を図る必要がある。
- ・将来的に酒田市で一元化を図ることも踏まえて、各学校の部活動関係者会等で周知を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○地域スポーツクラブ活動の運営や指導者配置等に必要なコストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担と公的資金等との適切なバランスも含めて収支構造を検討する。

○持続的に活動することを前提とした仕組みづくり（例えば、国費だけでなく、受益者負担や行政・関係団体の自主財源、寄附等を活用した基金の創設、企業版ふるさと納税の活用等）に取り組む。

地域クラブに係る経費

■ランニングコストの分析

- ・指導者謝金（36,000千円）
- ・事務局人件費（3,000千円）
- ・消耗品費（3,000千円）
- ・大会参加費、登録費（2,300千円）
- ・連絡アプリ使用料（100千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

$$\begin{aligned} &100\text{クラブ} \times 10\text{名} = 1,000\text{人が参加と仮定} \\ &36,000\text{千円} + 3,000\text{千円} + 3,000\text{千円} \\ &\quad + 2,300\text{千円} + 100\text{千円} = 44,400\text{千円} \\ &44,400\text{千円} \div 1,000\text{人} \div 12\text{カ月} \\ &= 3,700\text{円} \end{aligned}$$

取組の成果

- ・受け皿となる総合型地域スポーツクラブや中体連申請が通った任意団体クラブ等に再委託をしたことで、謝金のみならず、労務作業費が一定程度必要であることが分かった。
- ・国費は今後も必須であるが、持続可能な形で運営するための受益者負担として必要な金額が見えてきた。

今後の課題と対応方針

- ・受益者負担は今後必須条件になってくるが、まだまだ保護者の中では部活動の延長の感覚があり、理解が進んでいない。公的資金とのバランスを考えながら、徐々に受益者負担の金額を受け入れてもらえるように周知をしていく。
- ・公的資金のみで賄うことが難しい部分も想定される。地域クラブ応援企業制度（仮称）やクラウドファンディング等の仕組みづくりを行い、企業と連携して、地域の子供たちにとって持続可能なスポーツ・文化環境を構築していく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・部活動改革総括コーディネーターを今年度も配置した。学校や他団体の調整や説明会等での説明を行い、今後の方向性について周知を行うことができた。また、受け皿となるクラブがない中学校区の話し合いに参加し、今後の方向性について助言と共有を行うことができた。

・サポーターセミナーを2回開催し、内容としては素晴らしいものを提供することはできた。参加者が少なかつたため、今後は部活動指導員やクラブ指導者については悉皆または1回は参加するように依頼したい。

・今年度、クラブ指導者の実績報告書のまとめや謝金の支払い等をクラブで行ってもらうために、再委託を行った。当初は様々な手続きが煩雑で難色を示されたが、月を重ねるごとにスムーズに行うことができるようになった。ただし、毎月正しく報告書を提出することが難しいクラブもあり、実績報告のやり方も含めて改善が必要である。DXを活用したり、既存のアプリを利用したり検討をしていく。

・先進地の視察は今後の部活動改革の方針にとっては大変有効だった。

●成果の評価

・サポーターセミナーを2回開催した。参加者はどちらも約50名であったが、内容はかなり良いものであると参加者の意見からも評価できる。来年度も同じ講師の方をお願いする予定であるため、部活動指導員やクラブ指導者に参加してもらうように依頼する。

・休日の部活動の受け皿となるクラブがない4つの中学校区については、地域の事情を踏まえ、3つの中学校で1つの任意団体クラブを設立するために話し合いを進めている。令和7年度9月からの活動に向けて準備を行っている。もう1つの中学校でも令和7年9月からの活動に向けて任意団体クラブの設立に向けて話し合いを進めている。

・地域クラブへの再委託を行った結果、改めて事務作業の効率化は避けられないと感じた。DX化や既存のアプリの使用を検討したい。

●今後に向けて

・令和7年度の後半から全中学校で休日の部活動の地域移行は完了する目途が立っている。今後は単独クラブでは成り立たない団体スポーツを中心に整理統合を図っていく。

・これまでは学校教育課が中心となって部活動改革を進めてきたが、酒田市部活動改革推進協議会を設立し、教育委員会内の四課を始め、スポーツ協会、文化芸術団体、校長会、スポーツ少年団、PTA連合会等の関係者と話し合いを進めて、推進計画を策定する。

アンケート結果

●部活動改革に向けた実態調査結果について 生徒用 No.1

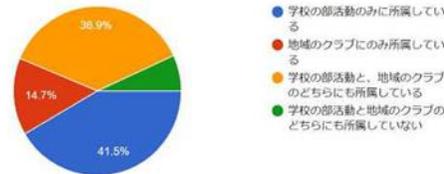
令和6年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (生徒用)

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

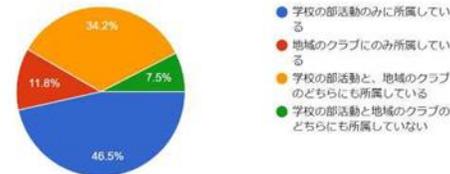
1. 現在所属している学校の部活動、または地域のクラブについて教えてください。【全員回答】

597件の回答



【前年度 ●…53.2%、●…12.3%、●…28.6%、●…8%】

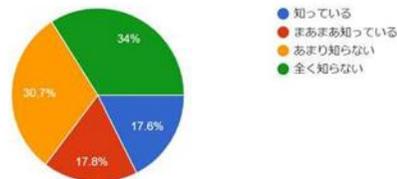
746件の回答



【前年度 ●…53.6%、●…13.8%、●…28.1%、●…4.5%】

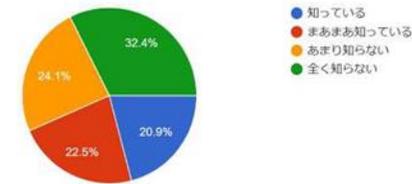
2. スポーツ庁、文化庁の動きを受け、酒田市では休日(土日、祝日)の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか? 【全員回答】

597件の回答



【前年度 ●…18.8%、●…21.6%、●…29.6%、●…30%】

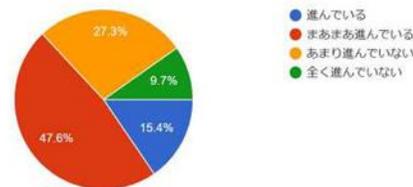
746件の回答



【前年度 ●…18.5%、●…22.3%、●…25.5%、●…33.7%】

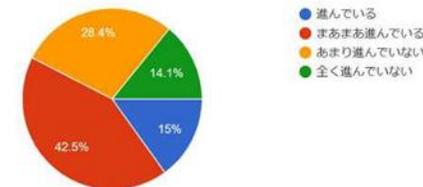
3. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか? 【全員回答】

597件の回答



【前年度 ●…16.9%、●…43.3%、●…28.1%、●…11.7%】

746件の回答



【前年度 ●…11.8%、●…38.8%、●…33.7%、●…15.6%】

No.1

考察

昨年度より部活動のみに所属している数は減り、クラブにも所属している数が増えていることから、地域移行は進んでいると考えられる。

昨年度に引き続き、4割ほどの生徒しか認知していない。まだまだ周知が足りない。当事者意識を持ってもらう必要がある。

地域移行の受け皿があるなしに関わらず、6割ほどしか実感が無い。指導者が兼職兼業の教員だと実感が湧かないことも考えられる。

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●部活動改革に向けた実態調査結果について 生徒用 No.2

令和6年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (生徒用)

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、島海八幡中学区】

4. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)メリットがあればお答えください。【複数回答可】

444件の回答



703件の回答



5. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)デメリットがあればお答えください。【複数回答可】

368件の回答

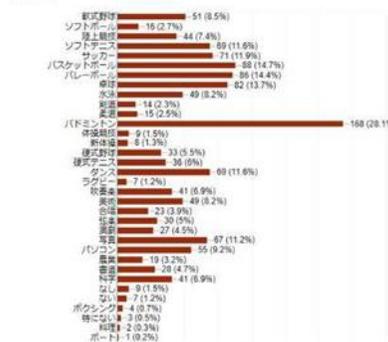


693件の回答



6. 現在、取り組んでいる種目以外に、どのような種目の活動をやってみたいか【全員回答】【複数回答可】

587件の回答

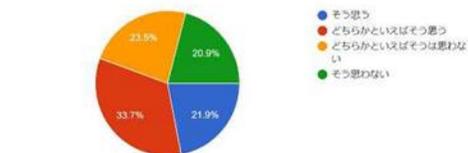


745件の回答



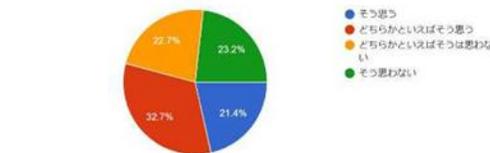
7. やってみたい種目の活動ができる地域のクラブがあれば入りたいと思いますか?【全員回答】

597件の回答



【前年度 ●...23.4%、●...30.2%、●...25%、●...21.4%】

746件の回答



【前年度 ●...24.9%、●...31.0%、●...23%、●...21.1%】

No. 2

考察

昨年度に引き続き、専門的な指導が受けられると好きなスポーツができるのが良いと思っている割合が高い。

大人と同様、移動手段がネックと感じている生徒が多い。

昨年度同様、バドミントンが圧倒的に人気である。それに続くのが、バレーボールとバスケットボールとなっている。

昨年度に引き続き、やってみたい種目のクラブが地域にあるてもやりたい人とやりたくない人の割合は半々である。

アンケート結果

●部活動改革に向けた 実態調査結果について 顧問用 No.1

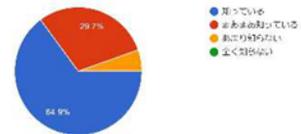
令和6年度 部活動改革に向けた実態調査の結果について (顧問用)

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

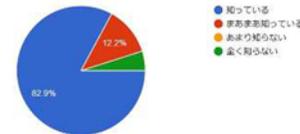
1. スポーツ庁、文化庁の動きを受け、酒田市では休日(土日、祝日)の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか?

37件の回答



【前年度 ●…78.1%、●…15.6%、●…%、●…%】

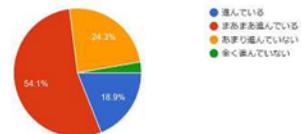
41件の回答



【前年度 ●…75%、●…20%、●…5%、●…0%】

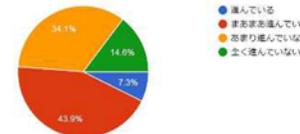
2. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか?

37件の回答



【前年度 ●…25%、●…53.1%、●…15.6%、●…6.3%】

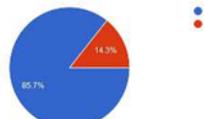
41件の回答



【前年度 ●…7.5%、●…35%、●…50%、●…7.5%】

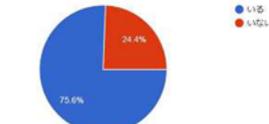
3. 現在、顧問をしている学校部活動に外部指導者はいますか?

35件の回答



【前年度 ●…84.4%、●…15.6%】

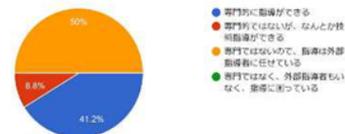
41件の回答



【前年度 ●…75%、●…20%】

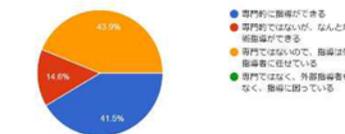
4. 現在、顧問をしている学校部活動での自身の指導状況についてお答えください。

34件の回答



【前年度 ●…25%、●…10.7%、●…64.3%】

41件の回答



【前年度 ●…75%、●…20%、●…5%、●…0%】

No.1

考察

昨年度に引き続き、地域移行の受け皿がある、無しにかかわらず、令和7年度末までに休日の部活動を地域移行することは9割近くの方が認知している。

地域移行の受け皿がある左の学区については7割強進んでいる実感があるが、受け皿のない右の学区はまだ5割程度しか実感が無い。

地域移行の受け皿がある学区の方が若干多いが、全体では8割近く外部指導者はいる。サポーターバンクの活用と周知が必要である。

専門的な指導ができる顧問が4割強いるため、地域展開を行った際の指導に携わってもらうことも必要と考える。兼職兼業で謝金の確保も必要と考える。

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●部活動改革に向けた実態調査結果について 顧問用 No.2

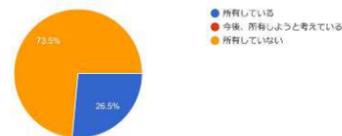
令和6年度 部活動改革に向けた実態調査の結果について (顧問用)

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

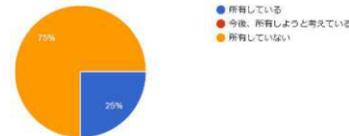
5. 現在、顧問をしている学校部活動の指導者資格や審判資格を所有していますか？

34件の回答



【前年度 ●…30%、●…0%、●…70%】

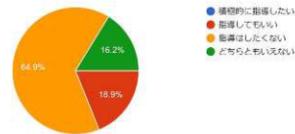
40件の回答



【前年度 ●…26.3%、●…0%、●…73.7%】

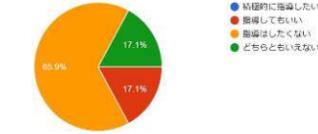
6. 学校部活動を地域のクラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)へ移行したとき、指導者として指導したいと思いますか？

37件の回答



【前年度 ●…8.2%、●…15.6%、●…65.6%、●…15.6%】

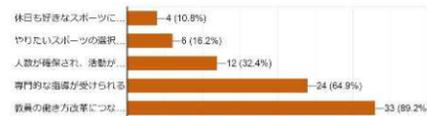
41件の回答



【前年度 ●…5%、●…20%、●…65%、●…10%】

7. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)メリットがあればお答えください。【複数回答可】

37件の回答



【前年度 1位…専門的な指導、2位…働き方改革、3位…人数確保】

41件の回答



【前年度 1位…働き方改革、2位…専門的な指導、3位…選択肢の増加】

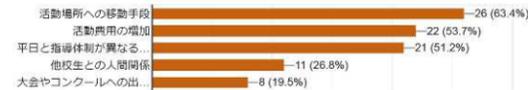
8. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)デメリットがあればお答えください。【複数回答可】

37件の回答



【前年度 1位…指導体制の差異、2位…移動手段、3位…活動費用の増加】

41件の回答



【前年度 1位…移動手段、2位…指導体制の差異、3位…活動費用の増加】

No. 2

考察

昨年度から変わらず、3割弱の顧問が資格を所有していることが分かったが、増えていない。

昨年度よりも指導にかかわりたいと思っている顧問の割合が減っている。やはり、部活動指導が大きな負担になっていると考えられる

地域移行の受け皿がある、無しにかかわらず、地域移行が働き方改革に大きな影響があると考えられている。また専門的な指導も期待できる。

活動場所が広域化することで移動手段は大きな課題である。公共交通機関が対応できるのか。費用面についても受益者負担の理解が求められる

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●部活動改革に向けた実態調査結果について指導者用

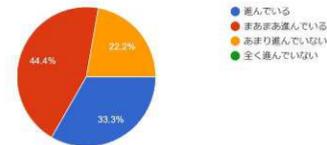
令和6年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (部活動指導員・外部指導者用)

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

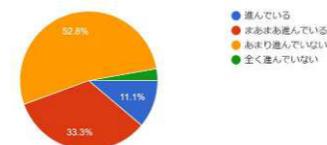
1. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか? 【全員回答】

18件の回答



【前年度 ●…21.4%、●…57.1%、●…21.4%、●…0%】

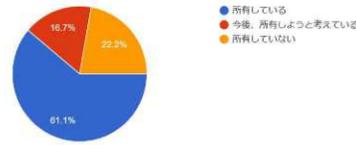
36件の回答



【前年度 ●…5%、●…20%、●…65%、●…10%】

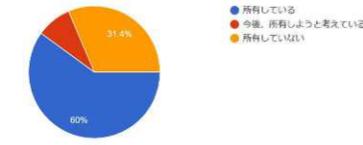
2. 現在、顧問をしている学校部活動の指導者資格や審判資格を所有していますか?

18件の回答



【前年度 ●…64.3%、●…21.4%、●…14.3%】

35件の回答



【前年度 ●…50%、●…10%、●…40%】

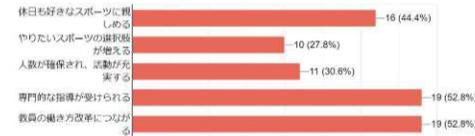
3. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)メリットがあればお答えください。【複数回答可】

18件の回答



【前年度 1位…専門的な指導、2位…働き方改革、3位…休日も好きなスポーツ】

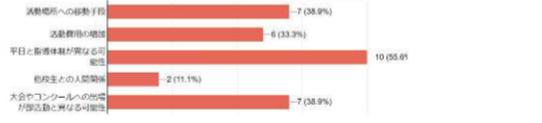
36件の回答



【前年度 1位…働き方改革、2位…専門的な指導、3位…3項目】

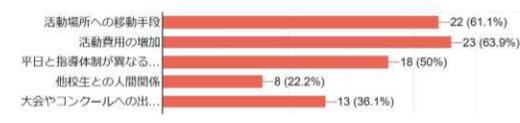
4. 学校部活動を地域クラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)に移行した(した場合)デメリットがあればお答えください。【複数回答可】

18件の回答



【前年度 1位…大会等への出場、2位…移動手段、3位…平日の指導体制の差異】

36件の回答



【前年度 1位…活動費用の増加、移動手段、3位…大会への出場他1項目】

No. 1

考察

地域移行の受け皿がある左の学区については8割近く進んでいる実感があるが、受け皿のない右の学区は4割近くしか実感が無い。

全体では、6割ほどの指導者が資格を保有している。資格取得の支援のためにも謝金は必要と考える。また、市独自の研修会も毎年開催したい。

昨年よりも教員の働き方改革に大きな影響があると答えている。その分、学校教育充実への期待感が高まると考えられる。

移動手段と同じくらい活動費用の増加も懸念されている。どちらも解決するための財源が必要である。

アンケート結果

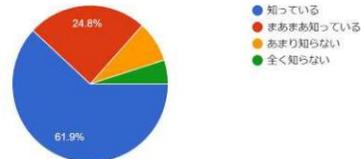
●部活動改革に向けた実態調査結果について 中学保護者用

令和6年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (保護者用)

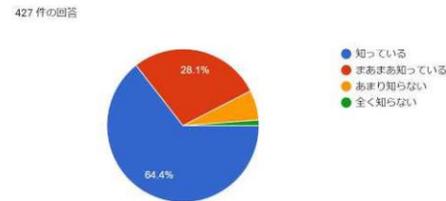
【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

1. スポーツ庁、文化庁の動きを受け、酒田市では休日(土日、祝日)の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか? 【全員回答】
202件の回答

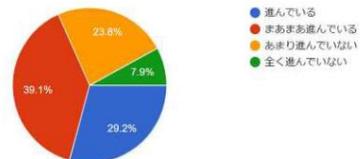


【前年度 ●...55.1%、●...31.5%、●...9.7%、●...3.7%】

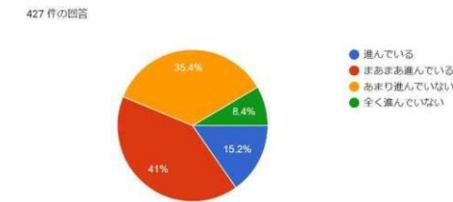


【前年度 ●...57%、●...34.2%、●...8.1%、●...0.7%】

2. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか? 【全員回答】
202件の回答

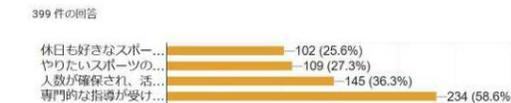
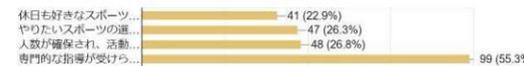


【前年度 ●...17.2%、●...49.4%、●...29.2%、●...4.2%】

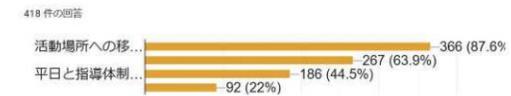
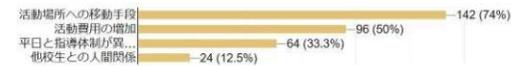


【前年度 ●...10.6%、●...33.8%、●...43.3%、●...12.3%】

3. 学校部活動を地域クラブに移行した(した場合)メリットがあればお答えください。【複数回答可】
179件の回答



4. 学校部活動を地域クラブに移行した(した場合)デメリットがあればお答えください。【複数回答可】
192件の回答



5. 学校部活動を地域クラブが担うことで、家庭の費用負担が発生する場合、月毎の費用負担額はどの程度が適当であると考えますか。

平均値:約 3,860 円(昨年度:約3,750円)

中央値:3,000 円

最大値:35,000 円(昨年度:30,000円)

最小値:0円(昨年度:0円)

平均値:約 3,625 円(昨年度:約3,450円)

中央値:3,000 円

最大値:30,000 円(昨年度:65,000円)

最小値:0円(昨年度:0円)

No. 1

考察

昨年度同様、8割~9割程の保護者が認知していることから、部活動自体や地域移行については保護者の関心は高い。

昨年度に引き続き、地域移行の受け皿がある左の学区については7割近くが進んでいる実感があるが、受け皿のない右の学区は5割を越え、昨年度より増えた。全体的に進んでいる。

昨年度同様、専門的な指導が受けられることへの期待が高い。

移動手段が全ての世代でネックと感じている。本格的に対策が必要である。活動費も課題。

一定の受益者負担は容認している。一方でこれまでとの違いの理解促進が必要と考える。

広報資料

令和6年度
CHIKIのCLUB募集集中!

みなさんの住んでいる地域には、以下に紹介したもの以外にもたくさんのクラブ・スクール・教室・道場などがあります。家族と相談しながら、自分の目標や希望、意欲に合わせて選んでみてはいかがでしょうか? 「楽しく」「自由に」「平等に」をモットーに!!

クラブ名	代表者	連絡先	活動内容
1 酒南ジュニア柔道クラブ	安達 芳久	080-1800-2403	月・水・金 18:15~20:00 土 9:00~11:00 ※活動費 2,000円/月 酒田南高校南千日町キャンパス 初心者大歓迎! 体格不問!
2 COAST TO COAST (バスケットボール男子) 六華総合型 地域スポーツクラブ 所属 coast2coast.bbc@gmail.com	池田 郁雄	090-9635-9542	月 19:00~21:00 蔵岡小 水 19:00~20:00 酒田六中 土 16:00~19:00 酒田六中 ※入会金 5,000円/年 ※活動費 5,000円/月
3 酒田Jr. BK(バドミントン)	加藤 浩昭	090-2361-6837 FAX 23-5230	火 19:00~21:00 国体記念体育館 水・金 17:00~19:00 勤労者体育館 土 14:00~17:00 勤労者体育館 ※活動費 1,000円/月 (保険代・シャツ代別途)
4 ハーバーベースボールクラブ (硬式野球)	佐々木 秀	090-2023-5325	月 18:00~21:00 光ヶ丘屋内練習場 木 18:00~21:00 光ヶ丘多目的 グラウンド ※入会金 1,000円/年 ※活動費 2,000円/月
5 ルミナール新体操クラブ ・男子新体操(競技コース) ・バク転・マット教室(男女)	下机 祐希	090-7073-4020	平日 17:00~20:00 旧酒田南高校 休日 9:00~13:00 or 13:00~17:00 ※競技コース 入会金 5,000円/年 年会費 3,000円/年 月会費 2,000円/月 ※バク転・マット 年会費 3,000円/年 活動費 1,000円/回
6 希望ヶ丘体育文化振興会	岩浪 豊	0234-26-5775	酒田市教育委員会へお問い合わせください
7 きらり川南スポーツクラブ	五十嵐芳和	0234-26-5775	酒田市教育委員会へお問い合わせください
8 ひらた目ん玉スポーツクラブ	丸山 清	080-2809-5930	詳細は直接お問い合わせください

不明な点は… 酒田市教育委員会へ 電話 : 0234-26-5775

【生徒への参加募集チラシ】

出典:酒田市

保護者用

中学校部活動改革について 部活動から地域クラブへ

令和8年度から部活動は平日のみになります!

保護者のみなさんこんにちは。日ごろから酒田市学校教育に対しましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。
さて、ご存じの通り、中学校の部活動が少しずつ変わっていきます。令和7年度までに、休日(土曜日や日曜日)の学校での部活動が徐々になくなり、地域クラブでの活動に移行していきます。

なぜ地域クラブにかわっていくのか

一つ目は、生徒数の減少(R3は2,415人、R4は2,398人、R5は2,322人)に伴い、各学校の部活動は単独での活動が難しくなってきたからです。団体スポーツでは、競技人数に達しないために合同チームを組んで大会に出場したり、休日ごとに他の学校と合同練習をしたりして対応しているのが現状です。
二つ目は、子どもたちの幅広い希望に応じていくためです。つまり、自分がやりたい競技が学校の部活動にない、専門的に教えてほしいが指導・競技経験のある先生や指導者がいない、という課題を解決するためです。

クラブ化の目的について

休日は部活動を行わず、地域クラブで活動する目的は以下の通りです。
『生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築』と『教員の働き方改革の推進』の両立

- 子どもたちが、自分の希望するスポーツや目標・競技力等に応じた団体を自由に選択できる環境を整えるため。
- スポーツを通して生徒と地域のつながりを深め、地域の活性化を図るため。
- 教員の働き方改革を進め、学校教育活動の一層の充実を図るため。

クラブ加入のメリットとデメリット

メリット	デメリット
<p><メリット></p> <ol style="list-style-type: none"> 休日の活動が保障される。 やりたいスポーツの選択肢が広がる。 人数が確保されて、活動が充実する。 指導者から専門的な指導が受けられる。 責任の所在が明確になる。 	<p><デメリット></p> <ol style="list-style-type: none"> 保護者の負担の増加 (送り迎えや会費【受益者負担】等) 子どもの負担の増加 (移動や活動の時間、練習の違い等)

酒田市教育委員会

【保護者への啓発チラシ】

出典:酒田市

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【第1回サポーターセミナーの様子】



【第2回サポーターセミナーの様子】



【川南アスリートクラブの活動の様子】



【先進地視察の様子（神栖市）】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体
市長部局、市教委、総括コーディネーター

経過

令和5年度より酒田市スポーツ審議会を検討委員会と位置付けていたが、幅広い意見をいただく機関となっていない現状から、改めて部活動改革推進協議会（仮称）を設置し令和7年度までに学校教育課で策定した推進方針を基に推進計画及び地域クラブの活動指針を策定する予定。令和6年度は、運営団体とコーディネーター、指導者、行政等で組織する連絡協議会を設置に向け、準備を行った。

実施内容

令和5年4月からは市内3中学校の20部活動において、地元にある総合型地域スポーツクラブを受け皿とする形で地域クラブ活動を実施した。令和6年4月からはこの内、1つのクラブが2つの中学校の生徒が参加する形態で行い、中学校体育連盟の大会にもクラブとして参加をした。

実施にあたって生じた課題

休日のクラブ活動において、これまで顧問が担ってきた活動場所の確保や鍵の開閉が指導者または保護者代表の業務になり負担が増えたことが指摘された。指導者は競技の指導のみをやってきた経緯もあり、それ以外の仕事を担う人材の確保が必要である。また、学区によっては指導者の不足が大きな課題として指摘されている。両者の改善のために、サポーターバンクの周知を更に行い、人材確保を行うと共に、地域の企業等へ指導者募集をかけるなど、総括コーディネーターによる関係者への働きかけを検討している。

今後の展開

令和7年9月からは、市内すべての中学校において、休日の運動部活動の地域クラブ活動を毎週実施する予定である。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、受益者負担となる会費負担は必須である。保護者の理解を得るために、地域クラブの紹介パンフレットの作成や説明会を実施し、会費負担の必要性について説明する。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

酒田市・酒田市教育委員会 学校教育課 部活動改革スケジュール（案）

	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	R8
酒田市 (各中学校)	<p>一中、四中、東部中で地域移行 主に希望ヶ丘体育文化振興会、きらり川南スポーツクラブ、ひらた目ん玉スポーツクラブ</p>			休日の運動部活動を完全地域移行
	<p>二中、三中、六中で地域移行に向けた準備 3校合同で受け皿となるクラブの創立も含めて</p>			
	<p>鳥海八幡中も地域移行に向けた準備 他学区のクラブとの連携も含めて</p>			
酒田市 教育委員会 (学校教育課)	<p>重点課題 ○移行目的の理解促進 ○人材発掘・育成 ○組織確立・物的環境整備</p>	<p>重点課題 ○受け皿となるクラブの設立 ○人材発掘・育成 ○クラブ支援</p>	<p>重点課題 ○受け皿となるクラブでの活動開始 ○人材発掘・育成 ○クラブの広域化</p>	
	<p>生徒・保護者と部活動の現状や課題の共有、部活動改革に関する政府予算の情報収集・予算確保 各中学校や受け皿となり得るクラブ等の現状把握、地域移行に向けた手順例や役割確認等</p>			

※ 酒田市部活動改革推進協議会で再検討

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県新庄市

自治体名：山形県新庄市

担当課名：社会教育課

電話番号：0233-23-5000（スポーツ推進係直通）

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	222.85 km ²
人口	32,998 人 (令和5年10月1日時点)
公立中学校数	5 校 (うち2校が義務教育学校)
公立中学校生徒数	809 人 (令和5年10月1日時点)
部活動数	46 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在休日の部活動の地域移行先として新たに地域クラブを設立し、休日の部活動の受け皿となる団体が立ち上がってきているが、まだ移行が進められない部活動もあり、令和8年度からの休日の部活動の完全地域移行に向けて、サポートを行っていく必要がある。

また、現在立ち上がっているクラブは1種目に限定された競技力向上、部活動を補完するためのクラブであり、気軽に様々なスポーツを行うための地域クラブがない状態となっている。令和5年度に開催した検討委員会内でも、学校関係者より競技性を求めない生徒も一定数おり、そういった生徒の受け皿の整備を行わないと、スポーツ離れが進んでしまう可能性が高いとの意見もあり、気軽にスポーツを楽しめる場の確保が必要である。

さらに、地域クラブにおいてICTの活用が進んでいないため、クラブ運営スタッフの負担が大きいものになっている。クラブ運営のICT化を進め、参加者管理や会費徴収等のスタッフの負担を減らし、少ない人数でもクラブを運営可能なものにしていく必要がある。

新庄市「休日の部活動の地域移行」方針

<本市の部活動の現状と課題> ※ アンケートの結果含

- ・少子化に伴う部員数の減少が著しく、休部や廃部を余儀なくされる部活動がある。
- ・大会等の参加における最低出場人数が確保できず、複数校による合同チームを組んで出場している競技がすべての学校にある。
- ・本来希望する部活動がない。
- ・部活動顧問が必ずしも専門的な指導者ではない。多くの顧問にとって部活動の負担が大きい。

→ 国・県の方針のもと「部活動の地域移行」を進めていく。

【目指す方向性】

- ① 「休日の部活動の地域移行」から進め、令和6年度からは休日の部活動を廃止する。※部活動は平日のみ
- ② 地域クラブ等に加入するかどうかは、生徒自身が選択する。※任意加入
- ③ 休日の活動を希望する生徒のために、地域クラブ等を受け皿として整備する。※部活動と違う競技や文化活動に参加できる。

○ 地域クラブの例

A 総合型地域スポーツクラブ	B 単一種目のスポーツクラブ（クラブや道場）	C スポーツ少年団
様々なスポーツが集まって、それぞれの志向・レベルに合わせて活動・参加できるスポーツクラブ。	一種類の競技について、指導者を置いて練習しているスポーツクラブ。運営主体は団体によって様々。	スポーツ少年団の登録を行い、活動しているスポーツクラブ。
D 企業が運営するスポーツクラブ	E 市民向けに活動している文化団体（クラブ）	
運営の主体が企業で、専用の施設等で、専門的な指導を受けながら活動するスポーツクラブ。	市民プラザ等で活動している文化団体（クラブ）や、専用の教室等を開催している団体（クラブ）。	

○ 地域クラブへの移行のイメージ

- 【例1】 現在あるスポーツ少年団やスポーツクラブ、道場、文化団体等がそのまま休日の活動の受け皿となる。
- 【例2】 競技（文化）団体等が新しくクラブを立ち上げ、市内の希望者を募って、休日の活動を行う。
- 【例3】 保護者が主体的に行っている練習クラブ等については、休日の受け皿となるために規約を作成するなど、運営体制を明確なものにしていき、市に対してクラブ登録する。
- 【例4】 学校に運営主体を残した形で、部活動指導員等が休日の活動の指導を行う。※令和7年度末までとし、クラブの整備ができ次第移行する。

○ 地域移行のスケジュール

休日の地クラブ活動に、教員が指導者として参加する場合は、地域住民として参加する。報酬を受ける場合は、兼職兼業の許可を得る。（教員もクラブの指導者になることが可能）



〔令和6年度以降の一週間のイメージ〕



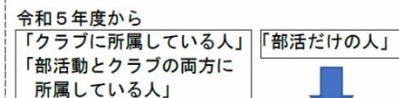
- ☆1…休日の部活動が廃止となる令和6年度以降は、基本的に休日の練習試合や冠大会（中体連主催大会を除く）、コンクール等への参加については、クラブにおいて行うものとする。
- ☆2…ただし、クラブにおいて☆1の状況にない場合は令和7年度末までは移行期間として学校に運営主体を置いた形で、部活動指導員や部活動顧問が引率して行うことができることとする。

※クラブ加入は任意。各クラブに県の部活動方針を遵守する形を依頼。

○ 中体連主催大会の参加について

令和5年度から県中体連主催大会の参加資格が下記のように変わります。

【山形県中学校総合体育大会】



この中で ↓ 部活動として参加

クラブのチーム・個人として大会に参加したいと思っている場合

学校以外の地域クラブとして参加することも可能

※参加資格の要件や地域クラブに対する要件があります。詳細は山形県中学校体育連盟のホームページで確認できます。

上記のように変わったことで、所属を選択して、出場することになります。

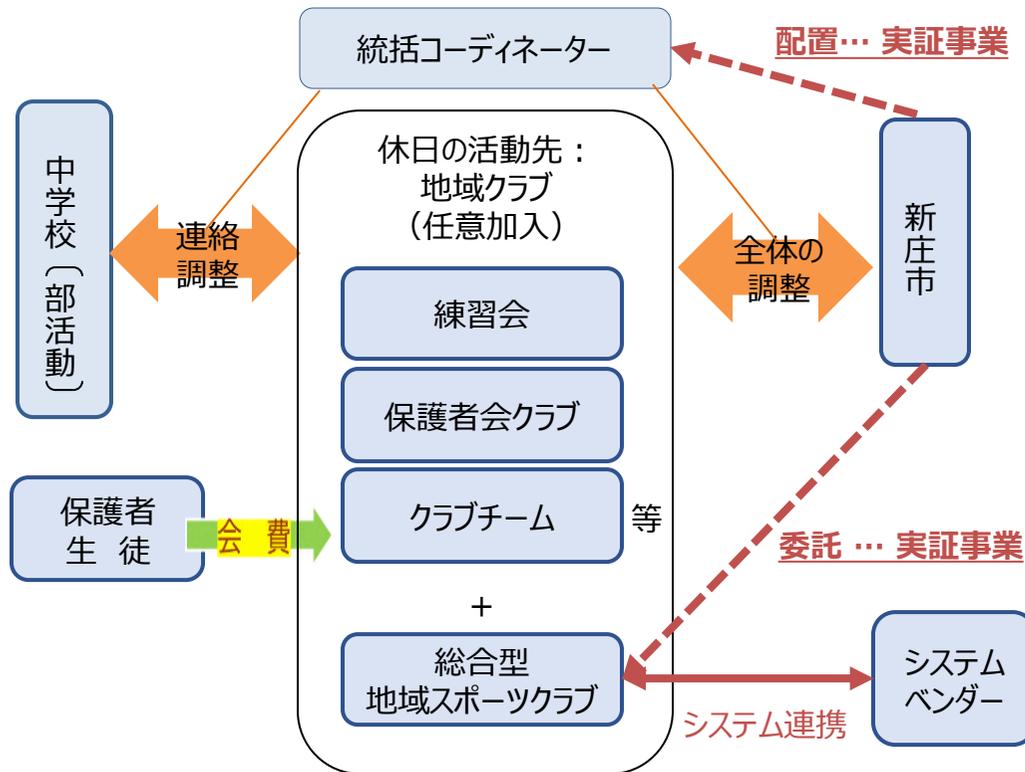
【所属選択の考え方】（新庄市として）

- ①練習の中心が部活動であれば、これまでどおり部活動として出場する。
 - ②練習の中心が地域クラブの場合、地域クラブとして出場する。
※その地域クラブが中体連に出場登録していることが条件
- ☆①、②の考え方が基本となるが、あくまでも自己選択なので、個人の判断を尊重する。また、②の場合でも地域クラブでの参加が難しい場合は、今まで通り部活動として出場する。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●実証事業の実施体制



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・全体的な調整・助言・指導

◎首長部局

・予算の確保 等

事業スケジュール

- 6月 ・統括コーディネーター配置
・総合型スポーツクラブとの地域クラブ運営委託契約締結
- 7月 ・地域クラブ設立に関する説明会
・検討委員会小委員会の開催
・令和6年度第1回検討委員会の開催
・学校への移行状況確認
- 10月 ・地域クラブ設立に関する説明会
- 1月 ・検討委員会小委員会の開催
- 2月 ・学校(部活動顧問)への移行状況確認
・地域クラブへの移行状況確認
・令和6年度第2回検討委員会の開催
・事業完了報告書・成果報告書の作成
- 通年 ・学校・競技団体との調整

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

中学生の受け入れが可能な団体は「地域クラブ」として登録してもらう登録制としており、活動・運営は各団体で行っている。

(地域クラブの例)

- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・単一種目のスポーツクラブ (クラブチームや部活動の保護者会クラブなど団体によって運営主体は様々)
- ・スポーツ少年団
- ・企業が運営するスポーツクラブ

①全体に関すること

中学校数	5 校		
部活動数	46 部活動		
部活動にある (あった種目)	軟式野球、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、卓球、剣道、柔道、空手、水泳、陸上、 ソフトボール		
登録されている地域クラブ数	26 クラブ		
	ケース別	A : 部活動にある (あった) 種目の地域クラブ数	22 クラブ
		軟式野球、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、卓球、剣道、柔道、空手、水泳、陸上	
		B : 部活動にはない種目の地域クラブ数	4 クラブ
硬式野球、合気道、弓道、ダンス			
休日の活動が移行された部活数	41 部活動 なお、部活動単位での移行状況 (登録していない地域クラブへ移行している部活動も含む) であり、競技・種目単位では、ソフトボールを除き、移行先の地域クラブがある状態となっている。		
全体の指導者数	未把握	全体の運営スタッフ数	未把握

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること（登録されている地域クラブ）

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施日及び実施時間帯	参加者	実施期間	指導者数	運営スタッフ数	会費	大会参加方法
新庄市内 小中学校	奥羽ジュニア バドミントンクラブ	スポーツ 少年団	バドミ トン	毎週火曜日 19:00~20:30 (不定期) 毎週水・日曜日 19:00~20:00 (不定期) 毎週木曜日 19:00~20:30	小学生・中学生 ※学年は未把握	令和 6年度	※未把握	※未把握	2,000円 /月額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
明倫学園	明卓会	保護者会	卓球	毎週土曜日 18:30~20:30 もしくは 毎週日曜日 10:00~12:00	中学生 ※学年は未把握	令和 6年度	※未把握	※未把握	なし	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
最上郡内 中学校	FCアミスタ	地域の クラブ	サッカー	毎週水・金曜日 18:30~20:30	中学生 ※学年は未把握	令和 6年度	※未把握	※未把握	4,000円 /月額	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
最上郡内 中学校	新庄最上バレー ボールクラブ	地域の 競技団体	バレー ボール	月2回の日曜日 13:00~15:30	中学生 ※学年は未把握	令和 6年度	※未把握	※未把握	300円/ 日	中体連：部活動 その他：地域クラブ

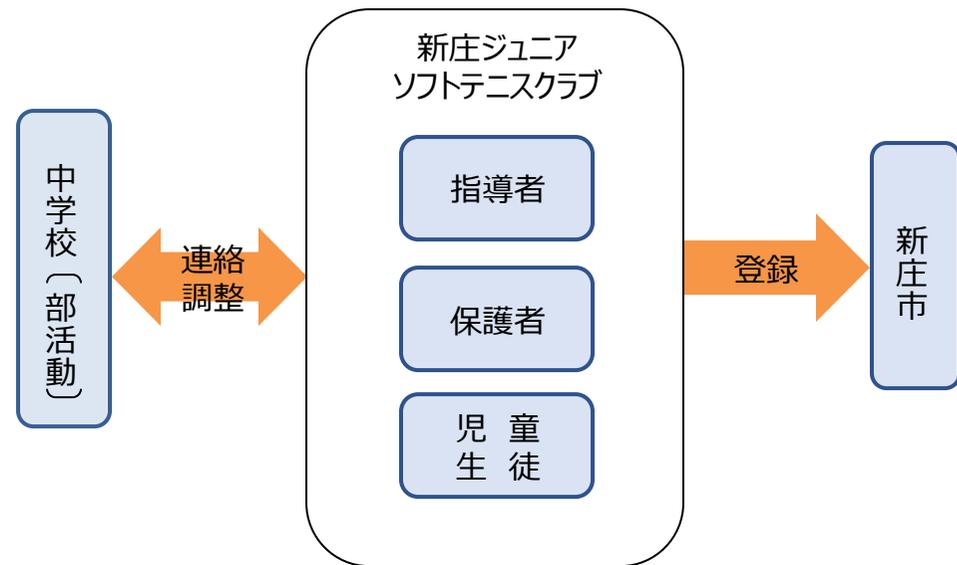
ほか22クラブ

地域スポーツクラブ活動の主な取組例

●新庄ジュニアソフトテニスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	スポーツ少年団
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	地域住民
活動場所	新庄市テニスコート
主な移動手段	保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 指導者
地域住民
- 運営スタッフ
加入児童・生徒の保護者 等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証の取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

新庄市唯一の総合型地域スポーツクラブである「リンクススポーツクラブ」へ本事業を委託し、気軽に運動できる場の環境を整備してもらう。また、持続可能なものとしていくための取組を行っていく。（詳細は12・13ページ）

委託先概要

リンクススポーツクラブは、山形県新庄市を拠点に活動している4つのスポーツチームが所属するクラブであり、主に小中学生がメンバーとして活動している。各チームの活動や運営は各指導者に一任されているが、チーム間をまたいでの活動やメンバー同士の交流は自由に行われている。

陸上競技

指導者 1名

会員数 60名

ラグビー

指導者 3名

会員数 9名

スポーツ
鬼ごっこ

指導者 1名

会員数 20名

モルック

指導者 1名

会員数 5名

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証の取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

委託先活動内容

種目	陸上競技
活動日	月・木（17:00～18:30） 土（9:00～10:30）
指導者	クラブ専属
活動場所	新庄市陸上競技場 新庄市体育館
移動手段	親による送迎、自転車

種目	スポーツ鬼ごっこ
活動日	火（17:00～18:00） 水（15:30～17:00）
指導者	クラブ専属
活動場所	新庄市体育館 金山町体育センター
移動手段	親による送迎、自転車

種目	タグラグビー
活動日	土（9:00～11:00）
指導者	ラグビーフットボール協会
活動場所	すぽーていあ
移動手段	親による送迎、自転車

種目	モルック
活動日	土（14:00～15:00）
指導者	もがみモルッククラブ
活動場所	カルチャーパーク21
移動手段	親による送迎、自転車

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証の取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

委託先活動スケジュール

- 6月 回数券システムスタート
陸上競技イベント参加
- 7月 会員募集チラシ配布
- 8月 マルチスポーツイベント
- 9月 マルチスポーツイベント
- 10月 陸上競技イベント参加
- 11月 マルチスポーツイベント
- 12月 タグラグビーイベント
- 1月 モルックイベント



チラシを作成し市内全小中学校に配布。時にはSNSでの発信もし、周知を図る

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証の取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

持続可能なものとしていくための取組①

大人が参加している総合型地域スポーツクラブの活動の参加者や地域スポーツ関係者から、管理運営のサポートを行える者を探していく。

- ➡ ①モルックに積極的に参加して下さる会員の方を候補として選定。主体的な活動となるよう、教室のリーダー役や準備係などの役割分担をする。クラブ運営側のスタッフを求めていることを日常会話の中で話題としてみる。
- ➡ ②中学校陸上競技のコーチングをボランティアで行っている方に声かけを行う。
チームとして一緒にコーチングをしながら、クラブの運営についても情報共有を行う。

取組の成果

地域クラブ活動の中で、管理運営のサポートを行える者を探していくことができた。

しかしながら、いずれも、責任ある立場となることに懸念を抱かれ、確保には至らなかった。

会員の方は、いち参加者・ボランティアとして気軽に参加できることにスポーツの楽しさ、気晴らしを求めている。

タグラグビーのスタッフも同様に、クラブ運営に携わることで拘束される時間が増えることに懸念を持たれてい、地域クラブ運営にはなかなか関わりにくい様子だった。

今後の課題と対応方針

普及・育成に関心を持ってもらえる組織づくりが必要。

スポーツが人生を豊かにするツールであることに気づいてもらうことを第一とし、する・観る・支えるといった多岐に及ぶスポーツとの関わり方があることを啓発していきたい。スポーツ文化が次世代に引き継ぐべき財産であると思える人を増やすことで、クラブに関わりたいという行動を想起させていく。まずはモルックやスポーツ鬼ごっこといったファンスポーツイベントを準備し、スポーツの魅力と必要性を伝えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証の取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

持続可能なものとしていくための取組②

受益者負担として参加費の徴収を行う。参加費徴収は、気軽にスポーツを行える場として、参加したい種目にのみ参加できるようにし、1回単位で行うことができるようにする。都度の参加費徴収や参加者確認の事務作業が煩雑となるため、電子チケットや会員管理システムなどを導入する。そういったICTの活用を含め、持続的に活動することを前提として、収支構造の検証をしていく。

➡ 総合ECサイト「ツクツク!!!」のウェブチケット機能を導入し、デジタル回数券を準備。利用者（会員）はスマホ上での申し込みや回数券管理をすることが可能とした。

取組の成果

イベントでの利用方法や、ポイント制度の機能など、逆に提案をいただく場面もあり、ニーズはあることが確認できた。また、これとは別に、ウェブチケット機能を利用して、子ども食堂の仕組みにヒントを得た、週末スポーツ「子ども応援チケット」は認知され、今後の資金調達の手法として期待できるものとなった。また、費用の検証ができた。

今後の課題と対応方針

ポイント制度の説明をマニュアル化し、デジタル決済での簡易さを認知してもらい、使用を習慣化させる必要がある。

デジタルでの回数券が非日常であったため、簡単な説明だけでは納得していただくまで至らなかった。回数券は紙ベースが当然という固定概念を覆すための取り組みを丁寧にしていく必要があった。インセンティブなどを示しながら、デジタルの回数券を使うことがお得であるということを伝えなければ、普段の生活での使用に至らない。

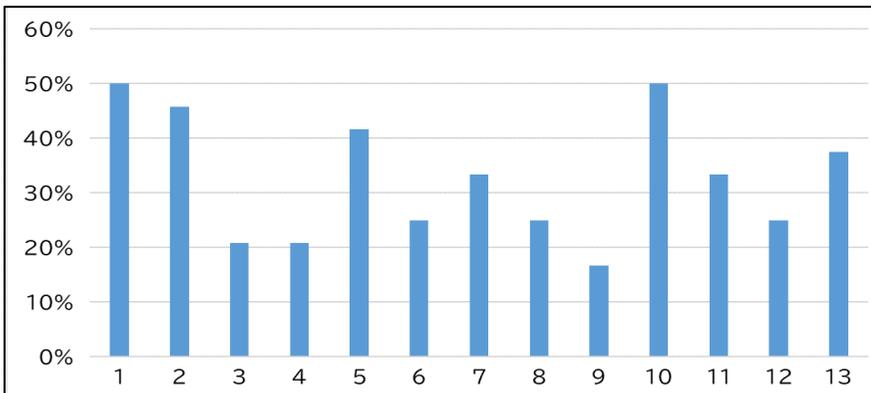


アンケート結果・成果の評価・総括・今後に向けて

●地域クラブへのアンケート結果（抜粋）

Q.地域クラブ活動を継続するにあたり、課題に感じている点について、当てはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ①持続可能な収支構造の構築 | ⑧大会への参加・引率規定 |
| ②指導者の量の確保 | ⑨保護者・生徒の理解
(参加費用負担や大会参加等) |
| ③指導者の質の確保 | ⑩自治体や部活動との連携体制 |
| ④事務員の確保 | ⑪部活動と地域クラブとの役割分担や
責任の所在 |
| ⑤活動する施設・設備の確保 | ⑫部活動と地域クラブでの一貫指導 |
| ⑥スポーツ用具等の確保 | ⑬その他 |
| ⑦移動手段の確保 | |



その他…会員の確保、指導者の資格取得への費用補助、広域的な連携等

●成果の評価

目標としていた、運動部活動の8割以上が休日の活動先がある状態を達成した。

●総括

統括コーディネーターを配置し、地域クラブ設立支援として説明会や規約案の提示を行い、広報媒体での周知も図った結果、多くの競技で受け皿が整いつつある。しかし、地域クラブの数的な整備は成果を収めた一方で、左記のアンケート結果にもあるとおり、設立した地域クラブが活動を継続するにあたっての課題を多々感じていることが明らかとなった。リンクススポーツクラブへの運営委託を通して、持続可能なものとしていくための取組として、管理運営のサポートが行える者の確保、ICT活用による運営負担の軽減についても実証を行ったが、成果をあげるのは容易ではなかったことが分かった。

●今後に向けて

令和8年度からの「休日の部活動の完全地域移行」に向け、地域クラブのない競技について、今後どういった方向で地域に移行していくのかを検討していく必要がある。また、地域クラブの整備から地域クラブ活動の継続に目を向けていく必要がある。地域に根差した継続可能なスポーツ環境の整備に向けて取組を進めていく。

参考資料（活動写真）

委託先活動写真

【陸上競技】



新庄市陸上競技場での活動



雨天時は室内で活動も



時には小中学生合同での活動



地元の大会にも出場

【タグラグビー】



ラグビーにつながる活動



大会にも挑戦



コーチの皆さんも動く



メイン会場のすぽーていあ

参考資料（活動写真）

委託先活動写真

【スポーツ鬼ごっこ】



金山町会場



時には保護者との活動も



小中学生が合同の活動



参加者を選ばず活動可能

【モルック】



普段の活動場所



他市町村会場での活動も



イベント前にのんびり



自然とガッツポーズ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

検討委員会設置、
検討開始

令和5年

受け皿団体
候補発掘

学校現場との
調整

生徒、保護者への
説明

地域クラブ登録の
開始

令和6年

地域クラブ活動の
拡大

●ステークホルダー

学校、保護者会、各競技団体、
スポーツ団体等

●経過

休日の部活動の地域移行を
検討する検討委員会設立

●実施内容

市内の全中学校の校長、
PTA会長、部活動のある競技
団体の代表から参画してもらい
検討委員会を設立し、地域移
行に関しての検討を開始。
年度末には市内全中学校向け
に市の方向性、スケジュールを提
示。

●ステークホルダー

学校、保護者会、各競技団体、スポーツクラブ、地域クラブ設立を考
えている方（団体）等

●経過

- ・学校部活動に対し、受け入れ予定先の有無を確認
- ・各競技団体に対し、地域クラブとして活動可能な団体等を確認
- ・地域クラブ設立を考えている方（団体）、部活動顧問、保護者会
に対し、設立に関する説明会を実施
- ・各種目において部活動顧問及び受け皿予定先団体と競技団体と
の情報交換会を実施
- ・市に対して地域クラブの登録を開始

●実施にあたって生じた課題

移行予定先がない部活動があり、令和7年度末までに移行方法を
考える必要がある。

●実施内容

検討委員会で地域クラブ設立に関しての諸課題の洗い出しを行い、
課題を一つ一つ解決して地域クラブの設立に繋がった。

●ステークホルダー

学校、保護者会、生徒・保護者

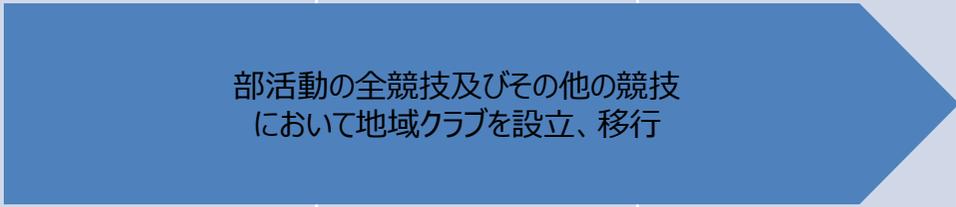
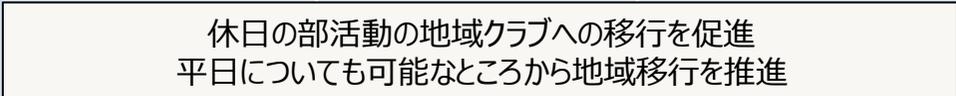
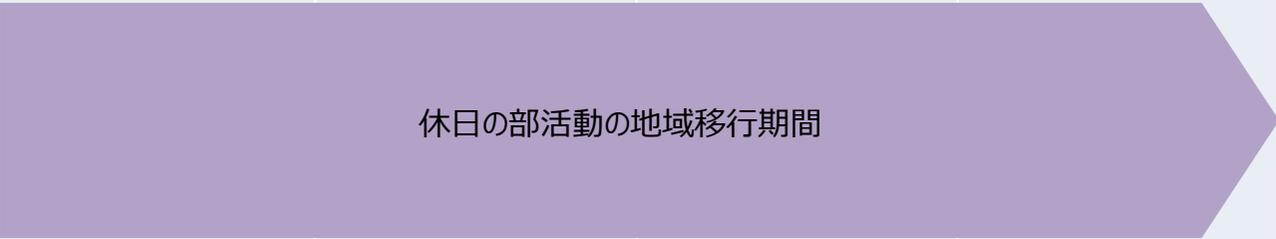
●実施内容

・地域クラブとして登録したクラブ
を各学校に広報・周知予定。受
け入れが可能な中学校区ごと
に分けるなどし、休日の活動を選ん
でもらう。
今後も地域クラブ設立をサポート
し、多くのクラブに参画してもらい、
生徒自身がやりたいスポーツをや
れる環境を整備していく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

新庄市 部活動改革スケジュール

	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
新庄市 教育委員会 (社会教育課)	令和7年度までに競技種目ごとに必要な地域クラブを立ち上げをサポート				
	 <p>部活動の全競技及びその他の競技において地域クラブを設立、移行</p>				休日の部活動を完全に地域移行
	 <p>休日の部活動の地域クラブへの移行を促進 平日についても可能なところから地域移行を推進</p>				
新庄市 教育委員会 (学校教育課)	原則令和6年度以降休日の部活動を行わない ただし、準備が整わなかった場合のみ学校に主体を置いた活動を継続				
	 <p>休日の部活動の地域移行期間</p>				